



袋小だより

令和3年11月号

北区立袋小学校

URL <http://www.city.kita.tokyo.jp/gakkoshien/kosodate/shogakko/gakkojoho/kuritsu/fukuro/index.html>

心を動かす

校長 新紺 明典

先日の運動会には多くの保護者の皆様のご参観をいただきありがとうございました。開閉会式でも申し上げましたが、保護者の皆様に「直接」ご覧いただけたことを本当にうれしく思います。全く学校においでいただくことができなくなった中で、子供たちが集団として活動している姿はいかがだったでしょうか。私達教員も1年ぶりの全校を挙げての行事でした。6年生は運動会が実施でき、「南中ソーラン」を披露できることを知ると、急激に気持ちを高め、練習に励んでいました。最高学年として自分たちの演目だけでなく、運動会の運営面でも各係として力を発揮してくれました。下の学年の児童は上の学年の演技を賞賛と憧れのまなざしで見っていました。上の学年は下の学年の演技を励ましと慈しみの微笑みで見っていました。やはり学校はみんなで生活していくところで、関わりをもたせて成長させていく場であると痛切に感じました。「行事で育てる」という言葉は、このことを言い当てています。

運動会明けの全校朝会で「心が動いたときに子供も大人も成長する」という話をしました。「うれしい」、「楽しい」、「すごい」、そして「悔しい」、「悲しい」といった心の動きが、時に人を大きく成長させます。「心が動く」ためには、そこまでにそれなりの「努力」が必要です。力を尽くしたからこそ、その「結果」に心が動くのだと考えます。「心の動き」が時間を経て、「思い出」として1人1人に残っていきます。併せて、思い出は「作るもの」ではなく、思い出に「なる」ものではないかと子供たちに投げかけました。「思い出を作るために」学校での活動を行うのではなく、「思い出になる」ように活動を行っていきたいと考えます。このことは日頃から袋小の職員にも伝えていきます。

運動会のまとめをした後は、12月の「学習発表会」への準備が始まります。全く新しい行事への取組です。「自分の考えをもち」、「友達の考えを聞き」、「自分たちの意見をまとめ」、「他の人に分かるように説明する」大変高度な学習活動です。学習発表会でも「心を動かす」教育活動を行っていきます。ご協力をお願いいたします。

10月25日から新型コロナウイルス感染症に関する様々な規制が解除されますが、東京都では11月30日まで感染予防に対する「基本的対策徹底期間」が設定されています。学校でも対策を緩めることなく、教育活動を進めて参ります。季節性インフルエンザの流行も併せてお気を付けください。

11月行事予定



日	曜	内容	日	曜	内容
1	月	委員会 視力検査(5年) 都学力調査(6年)	19	金	那須代替活動(4年)
2	火	生活科見学予備日(1・2年)	20	土	
3	水	文化の日	21	日	
4	木	社会科見学(3年)	22	月	A4 給食あり 研究授業 6-1のみB5
5	金	総合・社会科見学(4年)	23	火	勤労感謝の日
6	土	A3 土曜授業(公開なし)	24	水	
7	日		25	木	避難訓練(二次避難) ふくろ幼体験給食
8	月	クラブ⑦	26	金	桐中体験入学(6年)
9	火	こころの劇場(6年オンライン)	27	土	
10	水	安全指導	28	日	
11	木	B6	29	月	委員会(12月分)
12	金	都学力調査(5年)	30	火	都学力調査(4年)
13	土		12/1	水	A4
14	日		2	木	B6
15	月	幼保交流(5年)	3	金	
16	火		4	土	
17	水		5	日	
18	木		6	月	

ボランティア週間

6年 社会科見学 9月14日(水)

6年担任 小林 彩夏

国会議事堂の衆議院と江戸東京博物館に行きました。

国会議事堂では夏休み前に学習した日本の政治の仕組みを思い出しながら見学しました。教科書や資料集で見ていた議事堂の中の様子を間近に見ることができ、少し緊張しつつも喜んでいる子供たちでした。江戸東京博物館では、これから勉強する江戸時代の町の様子や歴史上の出来事に興味津々で見学していました。実際に体験できるコーナーも多く、意欲的に学習する様子が見られました。

6年生として初めての校外学習でしたが、感染症対策をとりながら袋小学校の最高学年として約束事やマナーを守り、高学年らしく学習することができました。今回の社会科見学を今後の学習にも生かしていきます。



5年 岩井自然体験教室代替活動 9月30日(木)

5年担任 佐藤 結衣

鴨川シーワールドに行きました。台風が心配されていましたが、雨に降られることなく行くことができました。

現地では、みんなでシャチのショーを見ました。大きなジャンプや飼育員さんとの連携したパフォーマンス等、迫力のある姿に大興奮でした。積極的に前に行き、たくさん水しぶきをあびた児童もいました。

その後はグループに分かれ、初めてみる生き物に驚いたり、スタンプラリーに参加しいろいろな魚を見たりと、子供たちが自分たちで考え主体的に行動する姿が見られました。久しぶりの校外学習となりましたが、きまりを守り安全に仲良く活動し、楽しい思い出となりました。



運動会 10月23日(土)

体育主任 近藤 央堯

晴天に恵まれ、無事運動会を行うことができました。今年度の運動会は午前中の実施とし、種目も各学年で限られた競技のみを行うこととなりました。新型コロナウイルス感染症が収まりつつある一方で、子供への感染が懸念される中での苦渋の決断でした。

1年生は「あいうえおながく♪玉入れ」でかわいらしいダンスと、一生懸命投げる姿を見せました。2年生の「わ*わ*わりレー」は子供たちがみんなでタイトルを決め、楽しそうに走る姿が印象的でした。3年生の「ソーシャルディスタンス☆棒引き」ではシンプルながら迫力のある力強い競技で会場を沸かせました。4年生の「Oh!Giant ball!!」では大玉を使った新競技にチャレンジしました。思い通りに動かせず苦心して練習した成果が発揮された勝負でした。5年生「みんなであつなごう Big バトン」では会場の目を引く大きなバトンで、持ち方や走る順番を工夫して走る事ができました。各学年が団体競技を行う中、6年生だけは最高学年ということもあり、100m走と表現種目「三連ソーラン」に取り組みました。「他学年も本当は表現種目もやりたかったはず。」そんな思いを背負い、6年生全員が全力で踊りきる事ができました。6年生は他にも、応援団や用具係など、様々な形で運動会の支えとなりました。多くの制約がある中でも子供たちは一生懸命、そして楽しそうに参加する事ができました。ご多用の中、運動会にご協力くださったPTA及び保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

